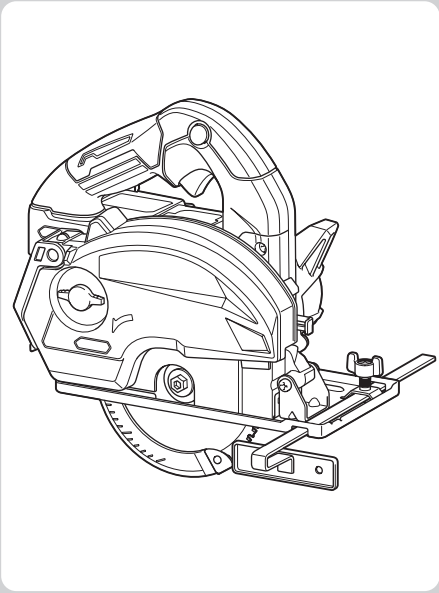
ヒューマンハードウェアのマキタ
人の暮らしとすまいのために……

makita

取扱説明書

125 mm
充電式チップソーカッタ

モデル CS003G



このたびは125 mm充電式チップソーカッタをお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

もくじ

はじめに

主要機能 …… 2
安全上のご注意 …… 4
各部名称 …… 17
標準付属品の確認 …… 18
別販売品のご紹介 …… 19

ご使用前の準備

バッテリの充電 …… 22
バッテリ／充電器の取り扱い …… 26
使用前に知っておいていただきたいこと …… 33

使い方

チップソーブレードの取り付け／取りはずし方 …… 36
バッテリの取り付け／取りはずし方法 …… 39
基本操作 …… 40
・切り込み深さの調整 …… 40
・ケガキ線の合わせ方 …… 41
・平行定規の使い方 …… 42
・スイッチの操作 …… 42
・ライトの点灯 …… 43
・切断方法 …… 44
使用後の取り扱い …… 46
・切粉の捨て方 …… 46
・本製品のお手入れ …… 47
応用操作 …… 48
・ダストボックス・ダストカバーの取りはずし・取り付け方 …… 48
・木工・石こう・樹脂専用ダストカバー（別販売品）の使い方 …… 49
・木工・石こう・樹脂専用ダストボックス（別販売品）の使い方 …… 50
・吊り下げ用フック（別販売品）の使い方 …… 52

保守／点検

故障かな？と思ったら …… 54

はじめに

主要機能

主要機能＼モデル	CS003G
電動機	DC ブラシレスモータ
バッテリ（容量 / セル数）	リチウムイオンバッテリ
	BL4025（2.5 Ah/10 本）
電圧	直流 36 V（40 V max）
回転数	3,900 min^{-1}（回転 / 分）
チップソーブレード寸法	外径 125 mm ×内径 20 mm
最大切り込み深さ	46 mm
防じん・防水保護等級	IP56

充電器		DC40RA
入力電圧		単相交流 100 V
入力周波数		50-60 Hz
入力容量		310 W
バッテリ充電端子	出力電圧	直流 40 V（max）
	出力電流	直流 6 A
USB 電源端子	出力電圧	直流 5.0 V
	出力電流	直流 2.4 A
	端子形状	USB A 型

※：40 V max は満充電時のバッテリ電圧を表しています。

- 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

■ 製品の質量および寸法

装着バッテリ	質量（kg）	本製品寸法（mm）長さ×幅×高さ
バッテリ無し	2.2	269 × 169 × 245
BL4025	2.9	269 × 188 × 245
BL4040	3.2	269 × 203 × 245

1 回の充電での作業量

・ 数値は参考値です。
・ 数値はチップソーブレードの切れ味などにより異なります。

使用 バッテリ	材料	寸法	切断本数
BL4025	電線管	外径 38.1 mm、厚さ 1.4mm	約 400 本
BL4040			約 630 本

JPA002-65

安全上のご注意

- ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 「充電工具」は、充電式（バッテリパック式）の電動工具を示します。

注意文の ⚠警告 ・ ⚠注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は ⚠警告 と ⚠注意 ・ 注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
なお ⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注：製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なご注意。

充電式製品共通の安全上のご注意

⚠ 警告

作業環境

1. 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
   - ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
   - 充電工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
   - 注意力が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
   - 作業者以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。
4. 十分な、防じん対策や飛散防止対策をしてください。
   - 特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときは、注意してください。
5. アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。
   - アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発症させる物質です。

電気に関する安全事項

1. 電源コンセントは充電器の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。アース（接地）付きプラグは確実にアース（接地）をしてください。
   - 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアース（接地）されているものに身体を接触させないようにしてください。
   - 感電する恐れがあります。
3. 充電工具、バッテリおよび充電器は、雨ざらしにしたり、湿った、または濡れた場所で使用したり、充電したりしないでください。
   - 充電工具や充電器内部に水が入り、感電やバッテリが短絡（ショート）する恐れがあります。
   - バッテリ内部に水が入り短絡（ショート）すると、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
4. 充電器の電源コードを乱暴に扱わないでください。
   - 電源コードを持って充電器を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
   - 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体にからまって感電する恐れがあります。
5. 使用環境に適した延長コードを使用してください。
6. USB 端子付きの充電工具や充電器は、USB 端子間を短絡（ショート）させないでください。
   - 釘、針金が USB 端子内に入ると、短絡（ショート）して発煙、発火の恐れがあります。

⚠ 警告

作業者に関する安全事項

1. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
- 充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる方や妊娠している方は、充電工具を使用しないでください。
- 屋外での作業の場合は、夜間の使用や悪天候などで視界の悪いときは充電工具を使用しないでください。
- 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。

2. 安全保護具を使用してください。
- 作業時は、常に保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。必要に応じて、すべり防止安全靴･ヘルメット、耳栓、イヤマフなどを着用してください。

3. 不意な始動は避けてください。
- バッテリを本製品に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- スイッチに指をかけて運ばないでください。

4. 充電工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
- 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して負傷する恐れがあります。
- 本製品に収納場所がある場合は、決められた位置にしっかり固定してください。

5. 無理な姿勢で作業をしないでください。
- 本製品を無理に押しつけず、常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

6. きちんとした服装で作業してください。
- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
- 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
- 屋外での作業の場合には、ゴム手袋とすべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

7. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
- 充電工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

8. 使用直後は製品の端子部に触れないでください。熱くなっているためやけどの恐れがあります。

⚠ 警告

充電工具の使用および手入れ

1. **充電工具は能力に合った作業に使用してください。**
- 安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った負荷で作業してください。

2. **スイッチに異常がないか点検してください。**
- スイッチで始動および停止操作のできない充電工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。

3. **充電工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、バッテリを本製品から抜いてください。**
- 本製品の調整
- 刃物、砥石、ビットなどの先端工具や付属品の交換
- 保管、または修理
- 充電工具から離れるとき
- 本製品の受け渡し
- その他危険が予想される作業

4. **使用しない充電工具、充電器およびバッテリは、子供の手の届かない乾燥した鍵のかかる場所に保管してください。**
- 充電工具や充電器からバッテリを抜いて保管してください。
- 充電器は電源コンセントから電源プラグを抜いて保管してください。
- バッテリはバッテリカバーをつけて保管してください（バッテリカバー付きの場合）。

5. **可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての部位に異常がないか確認してください。**
- 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
- 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- 充電器の電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- 充電器に使用する延長コードは、定期的に点検し、損傷している場合は交換してください。
- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。

6. **先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。**
- 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。

7. **取扱説明書で指定した先端工具、付属品、アタッチメントなどを使用してください。**
- 取扱説明書で指定のサイズ、形状、付属品などは、本製品の性能や安全を引出すよう、最適に設計されています。

8. **充電工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。**
- 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。

9. **極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。**

⚠警告

バッテリに関する安全事項

1. バッテリを差し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
・ スイッチがオンの位置にあるときにバッテリを差し込むと事故につながります。
2. バッテリは専用充電器以外では充電しないでください。
・ ほかのバッテリ用の充電器を流用すると、火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
3. マキタが指定した専用バッテリ以外使わないでください。また、改造したバッテリ（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリを含む）を使用しないでください。
・ 工具本体の性能や安全性なども損なう恐れがあり、火災やけが、故障、破裂などの原因になります。
4. バッテリの端子部を金属などで接触させないでください。
・ バッテリを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。短絡（ショート）して発熱、発火、破裂の恐れがあります。
・ 本製品または充電器からはずした後は、バッテリにバッテリカバーを必ず取り付けてください（バッテリカバー付きの場合）。
5. 高温などの過酷な条件下ではバッテリから液漏れすることがあります。漏れ出た液体に不用意に触れないでください。
・ 万が一、バッテリの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い医師の治療を受けてください。
・ バッテリの液は炎症ややけどの原因になることがあります。
6. バッテリはマキタ製品以外に取り付けて使用しないでください。
・ 火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
7. バッテリは、火への投入、加熱をしないでください。
・ 発火、破裂の恐れがあります。
8. バッテリに釘を刺す、切る、潰す、投げる、落とす、硬い物で叩くなど衝撃を与えないでください。
・ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
9. 分解・改造をしないでください。
・ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
10. バッテリを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。
・ バッテリを周囲温度が 50 ℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。バッテリ劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
11. バッテリを水のような導電体に浸さないでください。またバッテリの内部に水のような導電体を侵入させないでください。
・ バッテリ内部に水のような導電体が侵入すると短絡（ショート）し、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
12. 使用時間が極端に短くなったバッテリは使用しないでください。
13. 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリは使用しないでください。
・ 損傷、または使用できなくなったバッテリは回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。

⚠警告

14.使用済みのバッテリは一般家庭ゴミとして棄てないでください。

- 棄てられたバッテリがゴミ収集車内などで破壊されて短絡（ショート）し、発火・発煙の原因になる恐れがあります。

15.バッテリは、電力量が 100 Wh を超える場合、危険物に分類されます。

- 輸送の際は、輸送会社にお問い合わせの上、指示に従ってください。
- 電力量は、バッテリ裏側の注意ラベルに記載されています。

16.使用中、使用後にバッテリが熱くなることがあります。やけど、低温やけどの原因になるため注意してください。

17.バッテリに切りくず、ほこり、土などがたまらないようにしてください。

- 異常発熱によりやけどをしたり、発火、破裂または、作動不良によりけがに至る恐れがあります。

整備

1. 充電工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。

- 本製品、充電器、バッテリを分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
- 本製品が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
- 本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。
- アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用した本製品の保守・点検・修理は受付できません。

その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
- 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。
  ＜異常・故障例＞
  - 本製品やバッテリが異常に熱い。
  - 本製品やバッテリに深いキズや変形がある。
  - 焦げくさい臭いがする。
  - ビリビリと電気を感じる。
- スイッチを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐにバッテリを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。

⚠警告

2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
- この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

3. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。
- 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます（材料を動かして加工する製品を除く）。

4. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。
- 爆発や火災の恐れがあります。

5. 火災の恐れがあります。次のようなことをしないでください。
- ダンボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
- 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすいものを挿し込まないでください。
- 綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。

6. 充電器のバッテリ装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけないでください。
- そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

7. 充電器は充電以外の用途には使用しないでください。

8. 充電中、発熱などの異常に気が付いたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

9. 正しく充電してください。
- 充電器は定格表示してある電源で使用してください。
- 昇圧器などのトランス類や直流電源では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- ラベルに 発電機 の表示がある充電器はエンジン発電機（当社インバータ制御付エンジン発電機は除く）では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- 周囲温度が 10 ℃未満、または周囲温度が 40 ℃以上ではバッテリを充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- バッテリは、換気のよい場所で充電してください。充電中のバッテリや充電器を布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- 充電器の電源コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないような場所で充電してください。発煙、発火、感電の恐れがあります。
- 充電器を使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

10. 充電器の電源プラグにぬれた手で触れないでください。
- 感電の恐れがあります。

11. 充電工具を高圧電線の近くで使用しないでください（高圧電線対応製品は除く）。
- 誤動作や故障する恐れがあります。

⚠ 警告

12.充電器で使用する延長コードの太さ（導体公称断面積）と長さの目安

- 充電器の使用時に延長コードが必要な場合、充電器を最高の能率で支障なくご使用いただくために十分な太さの延長コードをできるだけ短くお使いください。

太さ（導体公称断面積）	長さの目安
2.0 mm^2	30 m

この取扱説明書は、大切に保管してください。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に必ず保管してください。
- ほかの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

JPB345-1

充電式チップソーカッタ安全上のご注意

先に充電工具として共通の注意事項を述べましたが、チップソーカッタとして、さらに次の注意事項を守ってください。

⚠ 警告

切断作業に関する注意事項

1. 危険！チップソーブレードや、切断している周辺と前後には手や顔を近づけないでください。
   - 回転するチップソーブレードが人体に触れると重大なけがの原因になります。
2. 切断する材料の下には手を入れないでください。
   - 材料の下は安全カバーで保護されないため、けがの原因になります。
3. 使用前に切り込み深さを材料にあわせて調整してください。
   - 材料の下から刃が見えるように調整してください。
4. 切断する材料を決して手で持ったり足で押さえたりしないでください。切断する材料は、安定した台に固定してください。
   - 刃物への手足の露出や、後述する「キックバック」を防ぐには、材料を適切に固定することが大切です。
5. 切断部分の近くに隠れた電気配線などがあるときは、切断や接触しないように十分に注意してください。また、絶縁されたハンドルだけを握ってください。
   - 電気配線などを切断や接触すると、本製品の金属部に通電して、感電の恐れがあります。
6. 縦に切断（縦引き）するときは、常に平行定規を使用してください。
   - 精度が向上するとともに、チップソーブレードの噛みが低減されます。
7. 本書指定のサイズ・形状・取り付け穴のチップソーブレードを必ず使用してください。
   - 本製品の取付金具に合わないチップソーブレードは、偏心による制御不能を招く恐れがあります。
8. チップソーブレードの取り付けは、指定の部品を用いて確実に取り付けてください。
   - 指定のフランジやボルトは、本製品の性能や安全を引出すよう、最適に設計されています。

⚠ 警告

キックバックの原因と対策

チップソーブレードが加工材料に噛んだり偏心したときに、反動で本製品がせり上がり、作業者に向かってくることがあります。これを「キックバック」と言います。チップソーブレードが切り口に強くはさまれて止められると、モータの反動で本製品が作業者に向かって急激に押し返されます。
切断中にチップソーブレードがひねられたり偏心すると、チップソーブレード後端の歯が材料表面をけり、チップソーブレードが切り口から飛び上がって作業者に向かってはね返ります。
キックバックはチップソーカッタの誤使用が引き起こします。以下は「キックバック」によるリスクを最小限にするための注意事項です。

1. **使用時は本製品をしっかりと保持し、キックバックに耐えるよう腕を備えてください。また、切断線と一直線にならないように身体を左右どちらかによけて位置してください。**
2. **刃物が切り口にはさまったり何らかの理由でチップソーブレードが止まった場合、スイッチを切ってチップソーブレードが完全に停止するまで本製品を動かさないで保持してください。チップソーブレードが動いている間は、チップソーブレードを切り口からはずしたり、本製品を後ろに引いたりしないでください。**
   - チップソーブレードが動いている間に切断方向以外に本製品を動かすと、キックバックを招きます。
   - チップソーブレードが完全に停止してから、チップソーブレードがはさまった原因の確認と対処をしてください。
3. **チップソーブレードが材料の中にあって本製品を再始動するときは、チップソーブレードが材料と噛み合っていないことを確認してください。**
   - チップソーブレードが噛み合っていると、本製品を再始動したときにキックバックが起こります。
4. **面積の広い材料を切断するときは、材料の両端と切断部分の近くを固定してください。**
   - 両端と切断部分を支持することで、材料が自重でたわむのを防ぎ、キックバックを減らせます。
5. **損傷や摩耗の激しいチップソーブレードは使用しないでください。**
   - 鋭利でない、または正しく取り付けられていないチップソーブレードを使うと、切り口が狭くなり、摩擦でチップソーブレードがはさまれたりキックバックしやすくなります。
6. **使用前に切り込み深さ調整レバーが確実に固定されていることを確認してください。**
   - 切断中にチップソーブレードの深さが変わると、チップソーブレードがはさまれるまたはキックバックの恐れがあります。
7. **壁のように裏側が見えない箇所などを切断するときは、特に注意してください。**
   - 裏側に出たチップソーブレードが、キックバックを招くものに触れる恐れがあります。

⚠ 警告

安全カバーに関する注意事項

1. ご使用前に、安全カバーが適切に閉じることを確認してください。安全カバーが自由に動かない、または瞬時に閉まらないときは、本製品を使用しないでください。決して安全カバーを開けた位置で固定したり取りはずしたりしないでください。
   - チップソーカッタを不意に落としたときに、安全カバーが曲がることがあります。そのときは安全カバーが自由に動き、すべての切り込み深さでチップソーブレードやその他の部品に接触しないか確認してください。
2. 安全カバーのバネの動きを確認してください。もし安全カバーとバネが正しく動かないときは、ご使用前に修理をお申し付けください。
   - 部品の損傷や粘着物、切りくずの堆積により、安全カバーが瞬時に閉まらなくなることがあります。
3. 作業中は、絶対に安全カバーを手動で操作しないでください。
   - 重大なけがの原因になります。
4. 本製品を作業台や床などに置くときは、チップソーブレードが停止して安全カバーで覆われていることを確認してください。
   - スイッチを切った後もチップソーブレードが慣性によりしばらく回りつづけます。
   - チップソーブレードが安全カバーで覆われ完全に止まる前に本製品を置くと、本製品は後ろに走り、途中にあるすべてのものを切断します。

その他の注意事項

1. チップソーブレードは、銘板に表示してある範囲のチップソーブレードを使用してください。また、刃底径が 100 mm 以下のチップソーブレードは使用しないでください。
   - けがの原因になります。
2. 材料の切り落とし側が大きいときは、切り落とし側にも安定性のよい台を設けてください。また、切り落とした材料がチップソーブレードと接触し、飛散するのを防止するために、台の高さは、チップソーブレードの出ししろの 3 倍以上にしてください。
   - このような台がないと、けがの原因になります。
3. 本製品を万力などで保持した使い方はしないでください。
   - 不意の接触などで、けがの原因になります。
4. 使用中、本製品の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。
   - そのまま使用していると、けがの原因になります。
5. 誤って落としたり、ぶつけたときは、チップソーブレードや本製品などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
   - 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

⚠ 注意

1. 刃物類（チップソーブレードなど）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
・ 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. チップソーブレードにヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
・ チップソーブレードが破損し、けがの原因になります。
3. 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
・ 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
4. 作業前に、人のいない方向にチップソーブレードを向けて空転させ、本製品の振動やチップソーブレードの振れなどの異常がないことを確認してください。
・ 異常があるとけがの原因になります。
5. 切断する材料の下に障害物がないことを確認してください。
・ 強い反発力が生じ、けがの原因になります。
6. 材料にビスなどの異物がないことを確認してください。
・ 刃こぼれだけでなく、反発により思わぬけがの原因になります。
7. 切断しようとする材料の前方に手を置いたまま作業しないでください。
・ けがの原因になります。
8. 回転させたまま、作業台や床などに放置しないでください。
・ けがの原因になります。
9. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。
・ 材料や本製品などを落としたときなど、事故の原因になります。
10. 切断砥石を使用しないでください。

IP 表示について（防じん・防水性能）

IP 表示は IEC 国際規格により規定される電気機器への粉じんや水の侵入に対する保護等級を表します。
保護等級の分類と内容はつぎの通りです。

IP 5 6

有害な影響を伴う水の侵入に対する保護等級（防水）

保護等級	内容
0 ～ 3	省略
4	あらゆる方向からの水の飛沫に対して保護されている。
5	あらゆる方向からの噴流水（12.5 ℓ /min）に対して保護されている。
6	あらゆる方向からの暴噴水（100 ℓ /min）に対して保護されている。
7	水に浸しても影響がないように保護されている。
8	潜水状態での使用に対して保護されている。

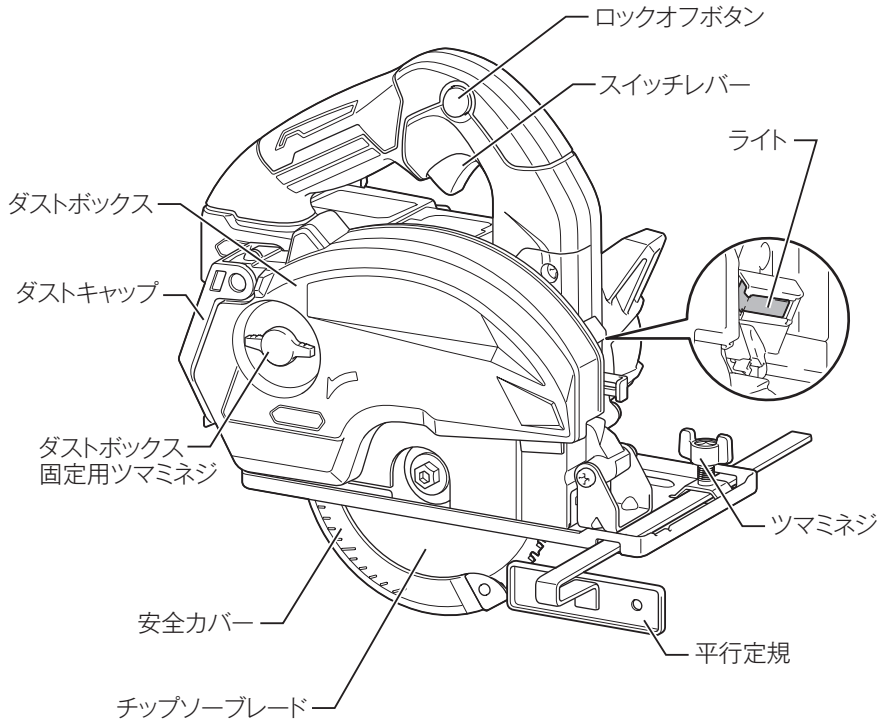
外来固形物の侵入に対する保護等級（防じん）

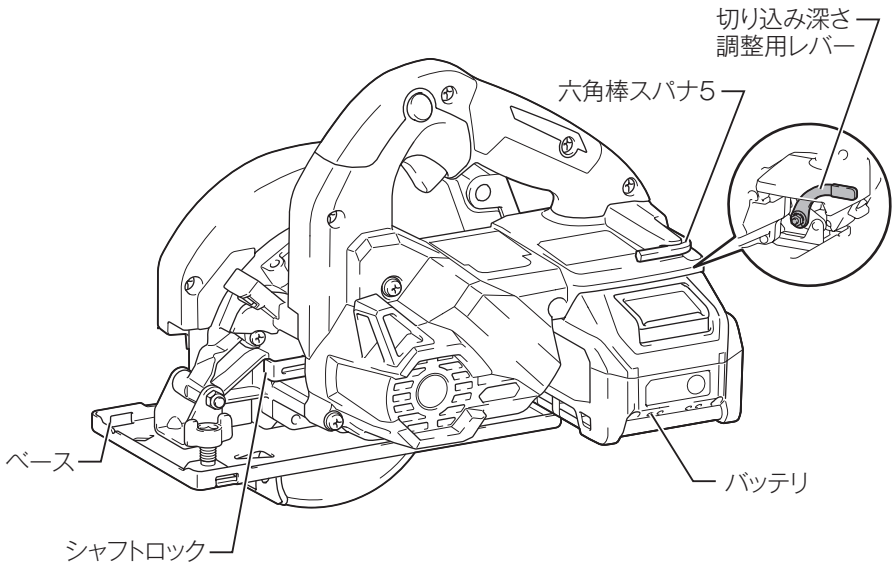
保護等級	内容
0 ～ 3	省略
4	直径 1 mm 以上の大きさの外来固形物に対して保護されている。 針金での危険箇所への接近に保護されている。
5	防じん試験用粉じん（直径 75 μ m）が侵入しても、動作および安全性を損なわないように保護されている（防じん形）。
6	耐じん試験用粉じん（直径 75 μ m）が侵入しないように保護されている（耐じん形）。

注

- IP 表示をしている製品は粉じんや水による影響を受けにくいように設計されていますが、故障しないことを保証するものではありません。
  過度な粉じんのあるところ、水中や雨の中での使用、放置はしないでください。
- 工具本体にバッテリを装着した状態で、IEC 国際規格に規定された保護等級に適合しております。

各部名称


ロックオフボタン
スイッチレバー
ライト
ダストボックス
ダストキャップ
ダストボックス
固定用ツマミネジ
ツマミネジ
安全カバー
平行定規
チップソーブレード


切り込み深さ
調整用レバー
六角棒スパナ5
ベース
バッテリ
シャフトロック

標準付属品の確認

モデル / 標準付属品	CS003GZ	CS003GRDX
バッテリ （容量 / セル数）	×	BL4025 （2.5 Ah/10 本） （2 個）
充電器 （充電時間）	×	DC40RA （実用充電完了 *1：約 19 分） （フル充電完了 *2：約 28 分）
バッテリカバー	×	○（2 個）
チップソーブレード 125	○	
六角棒スパナ 5	○	
平行定規	○	
プラスチックケース	×	○

*1 実用充電完了：フル充電完了の約 80 % の充電が完了した状態。
*2 フル充電完了：バッテリの容量いっぱいまで充電された状態。

別販売品のご紹介

・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。

・ チップソーブレード（金工用）

名称（用途）	部品番号
一般金工用　DC ホワイトメタル 125-30	A-74538
ステンレス兼用金工刃　DC ホワイトメタル 125-42	A-74544
厚物鉄工用チップソー 125	A-74360
ステンレス兼用金工刃 125	A-52211
充電金工用チップソー 125	A-47472
充電薄物金工用チップソー 125	A-47488
ガルバリウム鋼板・薄物金工用チップソー 125	A-50326
ホーロー用チップソー 125	A-68264
アルミ用チップソー 125	A-74310

・ 平行定規
部品番号：164095-8

・ 吊り下げ用フックセット品
部品番号：191U56-1

・ セフティゴーグル（保護メガネ）
部品番号：192219-6

※以下の別販売品は木工・石こう・樹脂専用です。専用用途以外で使用しないでください。

・ ダストカバーセット品
部品番号：122A85-3

・ ダストボックスセット品
部品番号：122A89-5

・ チップソーブレード

名称（用途）	部品番号
鮫肌プレミアムホワイトチップソー 125-35	A-67175
鮫肌プレミアムホワイトチップソー 125-45	A-71700
プレミアムタフコーティング 125-42	A-50500
プレミアムタフコーティング 125-55	A-60012
ダブルスリットチップソー 125-24	A-45010
ダブルスリットチップソー 125-42	A-48125
リフォームチップソー 125	A-48197
内装レーザーチップソー 125	A-36946
メラミン化粧板用ダブルスリット 125	A-68292
一般木工用チップソー 125	A-40630
プレミアムオールダイヤチップソー 125	A-50027
オールダイヤ 125-8	A-60399
オールダイヤ 125-10	A-50055
窯業系サイディング用チップソー 125-18	A-30190
窯業系サイディング用チップソー 125-20	A-20270
硬質窯業系サイディング用チップソー 125	A-50083
石こうボード用チップソー 125	A-40244
石こうボード用（薄刃）チップソー 125	A-49395

バッテリおよび充電器

品目	品名	品番
使用可能バッテリ（容量 / セル数）	◎ BL4020（2.0 Ah/10 本）	A-75823
	◎ BL4025（2.5 Ah/10 本）	A-69923
	◎ BL4040（4.0 Ah/10 本）	A-69939
	◎ BL4040F（4.0 Ah/10 本）	A-73841
対応充電器	DC40RA（急速充電器）	JPADC40RA
	DC40RB（2 口急速充電器）	JPADC40RB
	DC40WA（2 口充電器）	JPADC40WA
	DC40WB（充電器）	JPADC40WB
その他アダプタ類	ADP10 ※ 1 （充電器用互換アダプタ）	A-69967

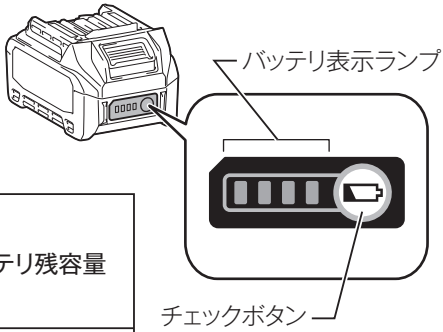
◎ : 使用推奨バッテリ

※ 1：充電器 DC40RA または DC40RB に取り付けることでマキタ 14.4 V/18 V バッテリの充電が可能になるアダプタです。

バッテリの充電

バッテリ残容量表示機能

・ チェックボタンを押すとバッテリ表示ランプが残容量を数秒間表示します。



バッテリ表示ランプ :点灯　:点滅　:消灯	バッテリ残容量
	75 % - 100 %
	50 % - 75 %
	25 % - 50 %
	0 % - 25 %
	充電してください。
	バッテリの異常です。

注

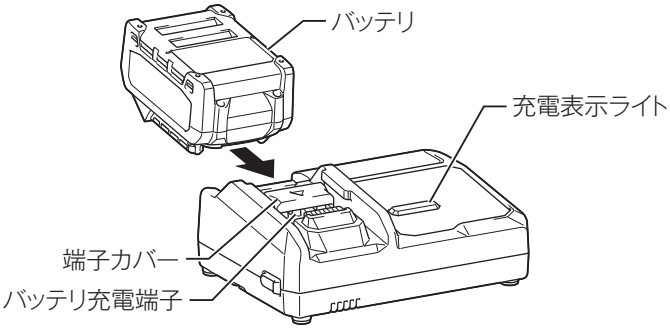
・ 表示される残容量は、ご利用状況や気温などによって実際の残容量と異なる場合があります。
・ バッテリ保護機能が働いた際は、左端のバッテリ表示ランプが点滅します。

シンボルマークについて

・ 充電器および取扱説明書にシンボルマークを表記しております。このシンボルマークの意味をご理解の上ご使用ください。

充電器は屋内で使用してください。

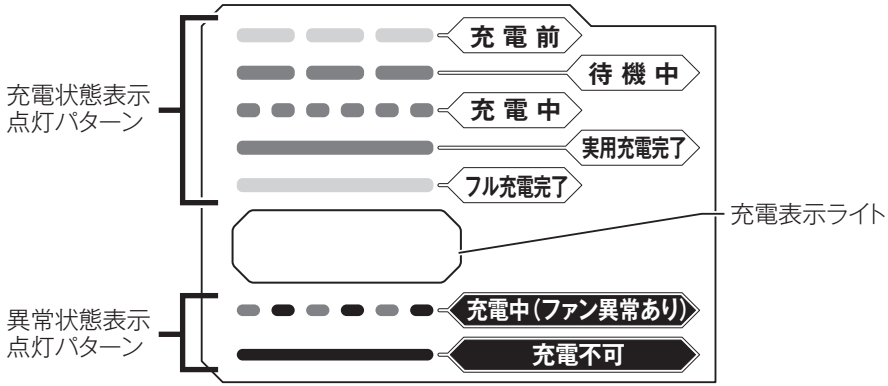
バッテリの充電方法



1. 充電器の電源プラグを 100 V の電源コンセントに挿し込みます。
・ 充電表示ライトは [緑点滅] を繰り返します。
2. バッテリを充電器の挿入ガイドにそって、一番奥まで入れます。
・ 充電器の端子カバーはバッテリ挿入に伴い開閉します。
3. バッテリを挿入しますと充電表示ライトが [青点滅（短）] に変わり、現在設定されている充電完了メロディーの確認音が短時間鳴り、充電を開始します。
4. 実用充電完了状態（約 80 % ～ 100 %）になると [青点灯] に変わり、電子ブザーが約 1 秒鳴ります。
5. フル充電完了状態になると [緑点灯] に変わり、充電完了メロディーまたは電子ブザー音が鳴ります。
・ 充電時間は周囲温度（10 ℃～ 40 ℃）やバッテリの状態（新品・長期保存バッテリや寿命に近いバッテリなど）により変動します。
・ 充電完了後すぐに使用しない場合は、バッテリの冷却を行いますので、そのまま差し込んでおくことをおすすめします。冷却時間は約30分です。
6. 充電完了後はバッテリを抜き取り、電源コンセントから充電器の電源プラグを抜きます。

充電表示ライトについて

充電表示ライトの内容は以下のようになっています。



ライト表示	状態	詳細
緑点滅	**充 電 前**	電源に挿し込んだ状態
青点滅（長）	**待 機 中**	バッテリが充電可能な温度状態になった後、自動的に充電開始
青点滅（短）	**充 電 中**	バッテリ容量約0 %~80 %
青点灯	**実用充電完了**	バッテリ容量約80 %~100 %（80 %で電子ブザーが鳴ってお知らせ）
緑点灯	**フル充電完了**	バッテリ容量100 %（電子ブザーまたはメロディーでお知らせ）
青・赤交互点滅	**充電中（ファン異常あり）**	冷却ファンの故障または冷却不足の状態
赤点灯	**充電不可**	バッテリ寿命またはゴミづまりで充電不可の状態（電子ブザーが約20秒間鳴ってお知らせ）

注

- DC40RA はマキタバッテリ専用の急速充電器です。他の目的に使用しないでください。
- 使用直後のバッテリや直射日光の当たる所に長時間放置したバッテリを充電されますと充電表示ライトが [青点滅（長）] を繰り返す場合があります。
  - このようなときは、自動的に充電器内蔵の冷却ファンによりバッテリを冷却してから充電を開始します。
- 充電開始後、充電表示ライトが [赤点灯] し、電子ブザーが [ピッピッピッ] と約 20 秒間鳴った場合は、バッテリの寿命またはゴミづまりで充電できないか、充電器とバッテリ間の通信が異常です。
  - このようなときは、バッテリ充電端子を掃除したり、新しいバッテリに交換してください。
- 次のような状態のときは、充電器またはバッテリに故障があると考えられますので、充電器とバッテリの両方を、お買い上げの販売店、または当社営業所へお持ちください。
  - × 充電器のプラグを 100 V の電源に挿し込んでも、充電表示ライトが [緑点滅] しない。
  - × バッテリを挿入しても、充電表示ライトが [青点滅] しない。
- バッテリを使用しないときは、バッテリカバーをかぶせてください。バッテリを水やほこりから保護するのに役立ちます。

バッテリ／充電器の取り扱い

バッテリについて

・ お買い上げ時は、バッテリは十分に充電されていないため、充電器で正しく充電してからご使用ください。
・ 使用しないときはバッテリカバーをかぶせてください。バッテリを水やほこりから保護するのに役立ちます。
・ 使用しないときは本製品または充電器からバッテリを抜いて保管してください。

バッテリを長持ちさせるには

・ 工具の力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
・ 満充電したバッテリを再度充電しないでください。
・ 充電は周囲温度 10 ℃～ 40 ℃の範囲で行ってください。
・ 長期間（6 ヶ月以上）ご使用にならない場合、リチウムイオンバッテリは充電してから保管することをおすすめします。

バッテリの回収について

・ 使用済みバッテリはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。

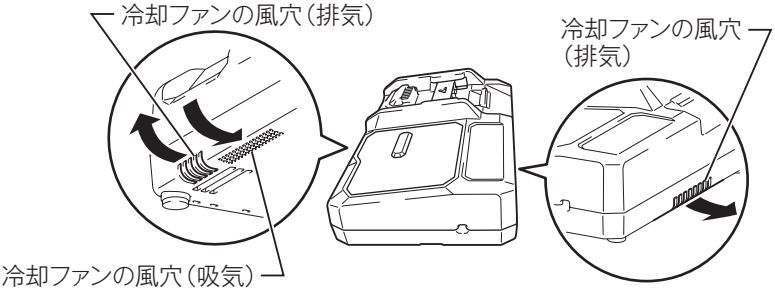
リチウムイオンバッテリは
リサイクルへ

充電器の点検・修理・保管について

・ いつも安全に能率よくお使いいただくために定期点検をおすすめします。修理・点検はお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
・ 充電器の保管場所として次のような場所は避けてください。
×お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる所
×温度や湿度の急変する所
×湿気の多い所
×直射日光の当たる所
×揮発性物質の置いてある所

充電器の冷却システムについて

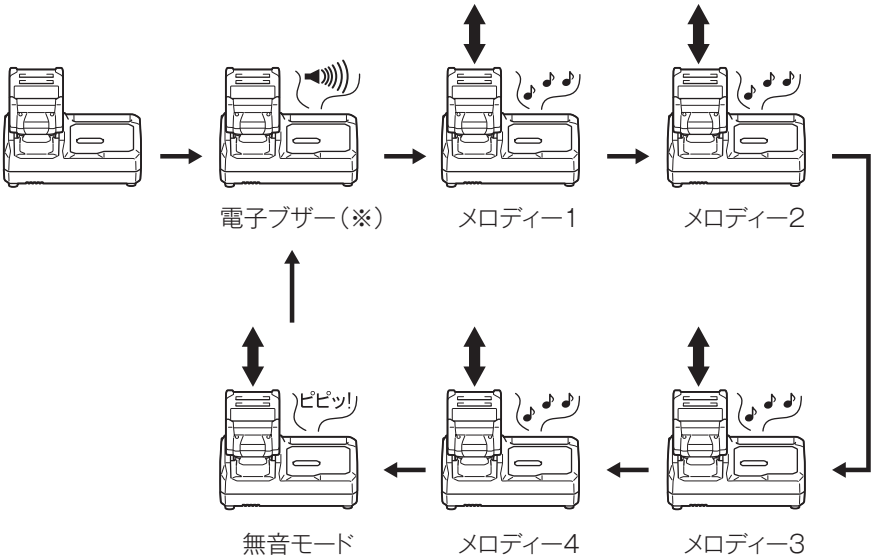
- バッテリの性能を十分に発揮させるため、充電器内蔵の冷却ファンによりバッテリを効率良く冷却するシステムです。送風の音がしますが故障ではありません。
- 冷却ファンが故障したり、充電器やバッテリのゴミづまりによって冷却不足となった場合、充電表示ライトが [赤・青交互点滅] し冷却システム異常をお知らせします。冷却システム異常の場合も充電を行いますが、充電時間が長くなることがあります（その場合、実用充電完了表示はありません）。
  - このようなときは、充電器、バッテリの風穴がふさがれていないか、または送風の音がしないか、ご確認ください。
- 充電器の前面と背面にある「冷却ファンの風穴」がゴミやほこりでふさがれていないか定期的に確認、清掃をしてください。



- 充電中、送風の音がしない場合がありますが、充電表示ライトが [赤・青交互点滅] していなければ故障ではありません。冷却ファンを停止して充電することがあります。
- 充電器、バッテリの風穴をふさがないでください。
- 頻繁に充電表示ライトが [赤・青交互点滅] するようなときは、点検・修理をお申し付けください。

充電器のメロディ切り替え方法

1. バッテリを充電器に差し込むと、現在設定されている充電完了メロディーの確認音が短時間鳴ります。
2. このとき、素早くバッテリを差し直すと充電完了メロディーの確認音が変わります。
3. 続けて素早くバッテリを差し直すたびに充電完了メロディーの確認音が順に変わります。
4. 設定したい充電完了メロディーの確認音が鳴りましたら、バッテリを挿入したままにすることで充電を開始します。
   「ピピッ！」と鳴るモードを選んだときは充電完了時に音が鳴りません（無音モード）。
5. 充電が完了すると充電表示ライトが [緑点灯] に変わり、バッテリ挿入時に設定した充電完了メロディーや電子ブザー音が鳴ります。無音モードを選択した場合には完了時に音はしません。
6. 設定した充電完了メロディーは充電器の電源プラグを抜いても記憶されています。



（※）出荷時は電子ブザーに設定されています。

充電器の USB 電源端子の使い方

⚠ 警告

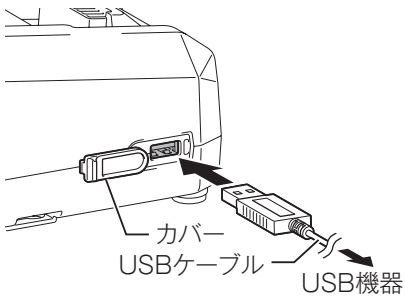
USB 電源部の端子間を短絡（ショート）させないでください。
- 釘、針金が USB 電源端子部に入ると、短絡（ショート）して発煙、発火の恐れがあります。

DC40RA は、様々な USB 機器の外部電源としても使用することができます。次の注意事項をよくお読みの上、正しくお使いください。

注

- 万一の場合に備えて、ご使用になる USB 機器の内部データを必ず事前にバックアップしてください。
  - 接続した USB 機器の内部データが（予測できない問題により）破損・消失する可能性があります。
- USB 機器の種類によっては、動作しない、または充電できない機種があります。
- 2.4 A を超える出力電流を必要とする USB 機器は、充電器に接続しないでください。
  - USB 電源端子の最大出力電流は、2.4 A です。
- 充電器と USB 機器の接続には、USB 機器に付属の USB ケーブルをご使用ください。
- 使用後は USB 端子カバーを閉じてください。USB 端子カバーが開いていると USB 端子内部に水滴やほこりが侵入し故障につながります。

1. DC40RA 側面の USB 端子カバーを開いて、USB ケーブルで USB 機器と接続します。
2. DC40RA の電源プラグを電源コンセントに挿し込んで USB 機器に給電します。
3. 使用後は、USB 機器、USB ケーブルを取りはずし、カバーを戻してください。
4. 電源コンセントから充電器の電源プラグを抜いてください。



壁に取り付けて使用する際のご注意

⚠ 注意

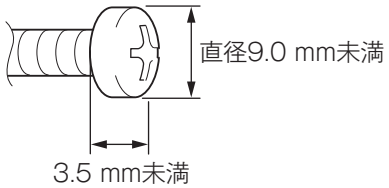
- 壁に取り付けて使用する場合は、必ず吊下げ用ネジ２本で確実に吊下げてください。
- 充電器を吊下げた後は、固定用ネジなどにより充電器を固定してください。固定が不十分な場合、充電器からバッテリを抜き取る際に充電器が落下する恐れがあります。
- 取り付け作業を行うときは、バッテリを抜き取り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- 取り付け作業を途中で中断すると落下などの恐れがあります。取り付け手順を守り、最後まで確実に取り付け作業を行ってください。
- 定期的にネジのゆるみがないか確認してください。
- ネジのゆるみがあると充電器が落下する恐れがあります。
- 定期的に充電器の端子部を掃除してください。
- 端子部の掃除を行うときは、エアダスターなどでていねいに行ってください。
- 充電器本体、バッテリ（BL4040）の総重量は、約 2.1 kg になります。取り付け場所の耐荷重が不足する場合は、十分な補強を行ってください。

壁面への充電器の取り付けは、次の手順で行ってください。

1. 事前準備

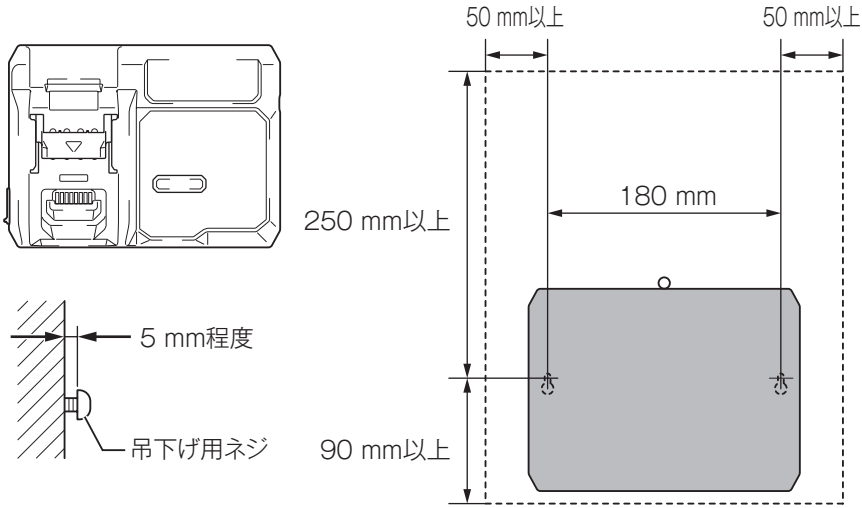
用意するもの（別途準備してください）

- 木ネジ（吊下げ用）4 mm × 20 mm 以上：２本
  ※ネジ頭は下図の寸法としてください。

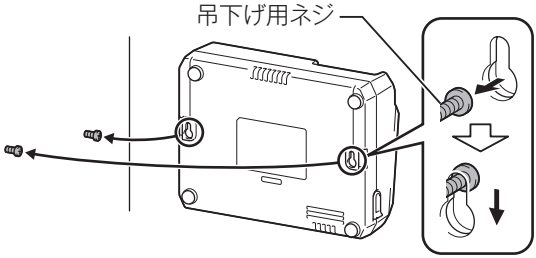


- 木ネジ（固定用ネジ 1）4 mm × 25 mm 以上：1 本
- 工具（ネジ締め用）

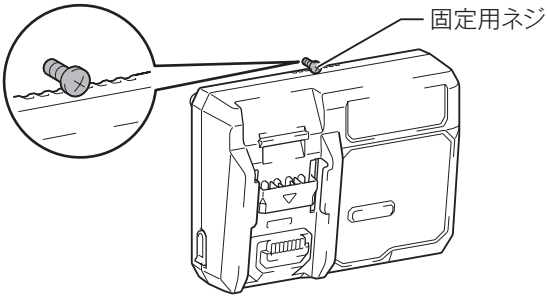
2. 吊下げ用ネジの取り付け
周りに充電器の取り付け作業や、バッテリの充電作業の障害になる出っ張りなどがない、強度のある壁面に取り付けてください。



3. 充電器の取り付け
手順 2 で取り付けた吊下げ用ネジに充電器を引っかけてください。



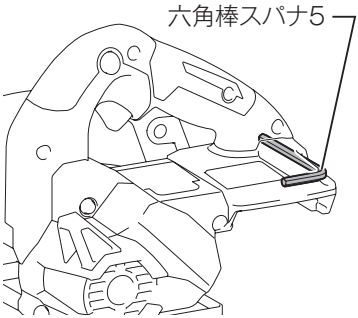
4. 充電器の固定
固定用ネジを図のように締め込んでください。



使用前に知っておいていただきたいこと

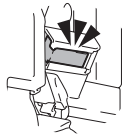
六角棒スパナ 5

・ 六角棒スパナ 5 は図の位置に収納されています。使用後は、元の位置に戻してください。



本製品およびバッテリの保護機能

本製品を使用中、下記状態になりますとモータが自動停止しますが、これは保護機能によるものです。

保護機能
・ **本製品およびバッテリの温度が高温になるとモータが自動停止します。** ・ 使用を中断して本製品よりバッテリを取りはずし、冷却ファン付きの充電器で充電および冷却をしてください。 ・ バッテリを冷ましても本製品が動作しない場合は、本製品を冷ましてください。 ライト点滅（約 1 分後消灯） 本製品の異常発熱時 
・ **バッテリの容量が少なくなるとモータが自動停止します。** ・ 本製品よりバッテリを取りはずし、バッテリを充電してください。
・ **本製品が過負荷状態になるとモータが自動停止します。** ・ いったんスイッチを切り、本製品よりバッテリを取りはずした後、過負荷の原因を取り除いてください。原因を取り除けば再びご使用になれます。
・ **保護機能が繰り返し働くとモータは自動停止し、その状態が保持されます。** ・ このような状態になった場合、スイッチを入れる・切るを行っても本製品は動きません。バッテリを外して充電器に挿入し、充電が完了するまでお待ちください。

・ 上記以外の症状で停止した場合、「故障かな？と思ったら」（54 ページ参照）に従って点検してください。

各種機能

■ ソフトスタート

・ スイッチレバーを引いたとき、反動をおさえスムーズに回転し始めます。

■ AFT（キックバック低減機能）

・ チップソーブレードのはさみ込みなどによる異常が発生したとき、本製品は急激な回転数低下を検知して、自動停止します。
スイッチレバーを放し、バッテリをはずしてから急激な回転数低下の要因を取り除いてください。その後、再度スイッチを入れてください。

注

・ AFT はキックバックそのものを防止するものではありません。
・ キックバックの原因と対策について必ず確認してください。

■ 定回転制御

・ 作業中負荷がかかっても工具の回転数が下がりにくく、軽負荷域では回転数を維持するので良好な切断面が得られます。

■ 電気ブレーキ

・ 本製品には電気ブレーキが装備されています。
スイッチレバーを放した後、本製品が速やかに停止しない場合、お買い上げの販売店、または当社営業所まで修理をお申し付けください。

チップソーブレードの取り付け／取りはずし方

⚠ 警告

チップソーブレードの取り付け、取りはずしの際は、必ずスイッチを切り本製品よりバッテリを抜いてください。

・ バッテリを差したまま行うと事故の原因になります。

⚠ 注意

チップソーブレードを取り付けるときは、本製品に付いている矢印とチップソーブレードに付いている矢印の方向を合わせてください。

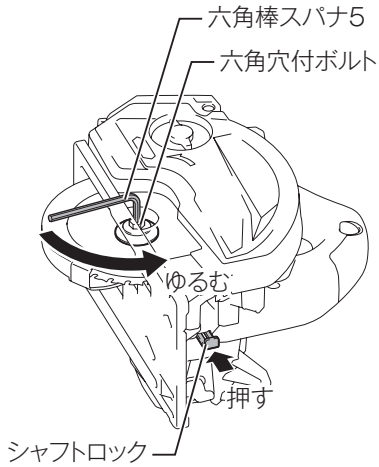
・ 矢印に合わせないとチップソーブレードの回転方向が逆となり、刃先をいためたり、けがの原因になります。

チップソーブレードの着脱は付属の六角棒スパナ５以外の工具は使わないでください。

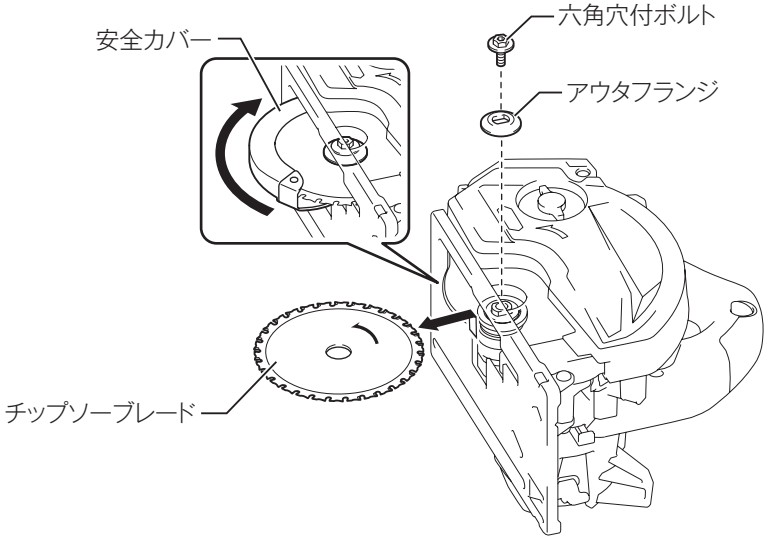
・ 締め過ぎや締め付け不足となり、けがの原因になります。

取りはずし方

1. シャフトロックを押し込み、ノコ軸の回り止めをします。
2. シャフトロックを押し込んだまま、六角棒スパナ５を使用してチップソーブレードを締め付けている六角穴付ボルトを、反時計回りに回してゆるめます。

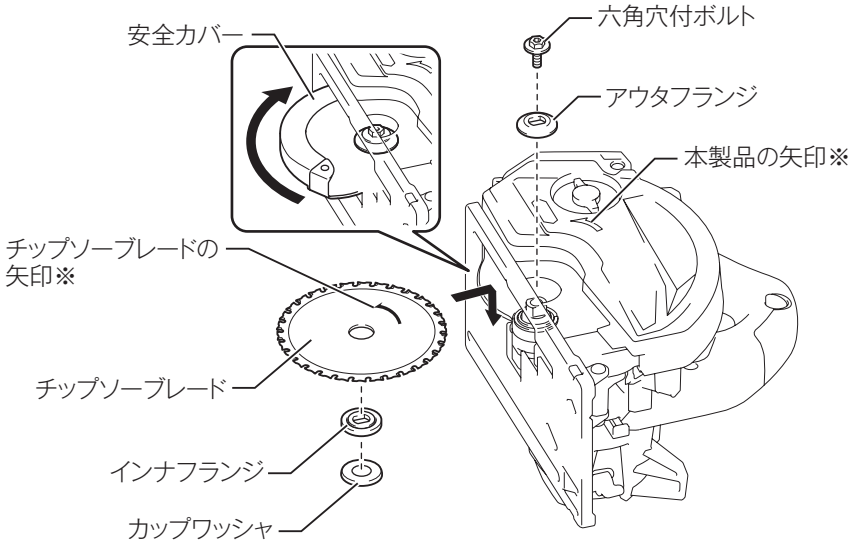


3. 六角穴付ボルトとアウタフランジを取りはずします。
4. 安全カバーをいっぱいまで開いた状態でチップソーブレードを取りはずします。



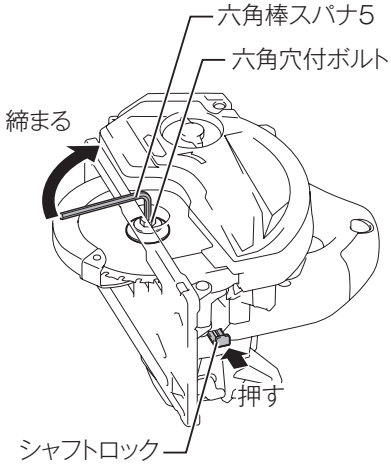
取り付け方

1. インナフランジは凸側を上にして、ノコ軸に取り付けます。
2. 本製品とチップソーブレードの矢印の向きを合わせます。
3. 安全カバーをいっぱいまで開いた状態でチップソーブレードを取り付けます。
4. アウタフランジを取り付けてから、六角穴付ボルトを取り付けます。



※チップソーブレードの矢印と本製品の矢印の向きを合わせる。

5. シャフトロックを押し込み、ノコ軸の回り止めをします。
6. シャフトロックを押し込んだまま、六角棒スパナ 5 で六角穴付ボルトを時計回りに回して締め付けます。



バッテリの取り付け／取りはずし方法

⚠ 警告

本製品にバッテリを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

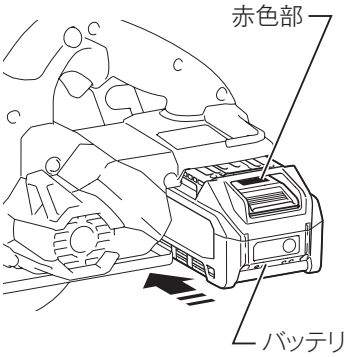
・ スイッチを入れたままバッテリを差し込むと、事故の原因になります。

バッテリは確実に差し込んでください。ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が見えなくなるまでしっかり差し込んでください。

・ 差し込みが不十分ですと、はずれて事故の原因になります。

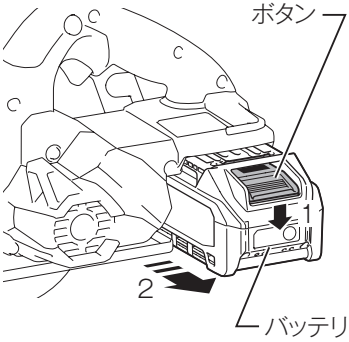
取り付け方

・ バッテリを本製品の溝に合わせ、赤色部が見えなくなるまで差し込みます。



取りはずし方

・ バッテリのボタンを
1. 矢印方向に押しながら
2. 引き出します。



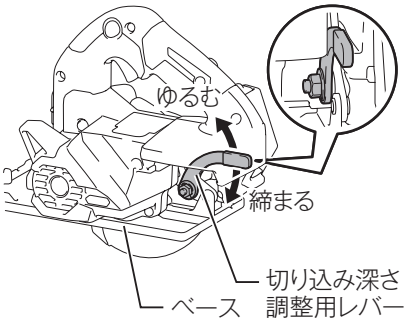
基本操作

⚠ 警告

各調整の際は、必ずスイッチを切り、本製品よりバッテリを抜いてください。
・ バッテリを差したまま行うと、事故の原因になります。

切り込み深さの調整

1. 切り込み深さ調整用レバーをゆるめ、お望みの深さにベースを上げ下げして調整します。
2. 調整後は、レバーをしっかり締め付けてください。

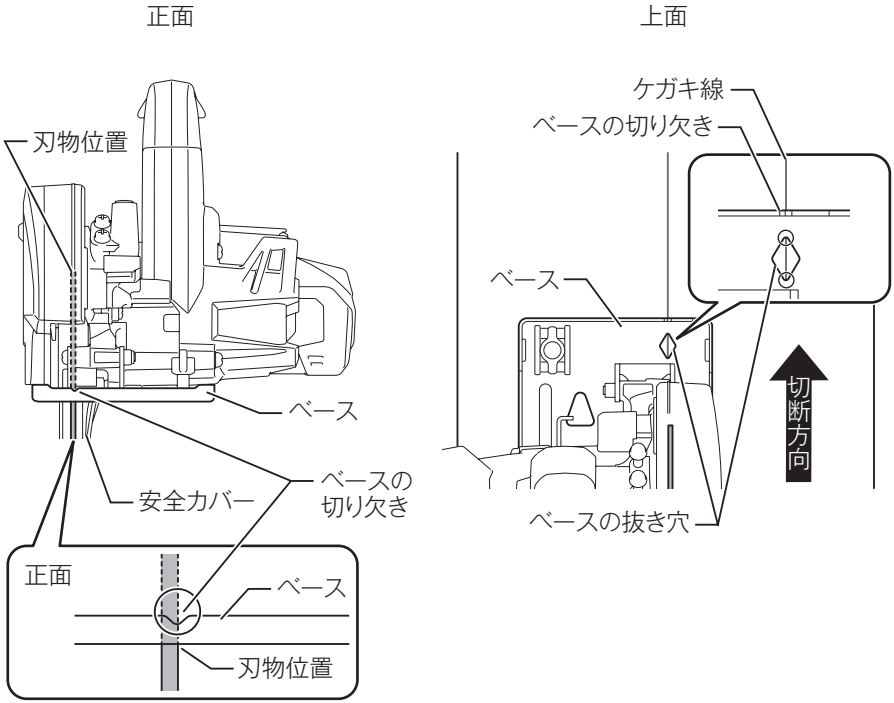


注

・ 材料が薄いときは、切り込み深さを浅くしてお使いください。

ケガキ線の合わせ方

・ 切断するときは、図のようにベースの切り欠きと抜き穴にケガキ線を合わせます。
・ ベースの切り欠きと抜き穴位置は目安です。
ケガキ線とベースの切り欠き、抜き穴を合わせて、試し切りを行い、ケガキ線に対する実際の切断位置を確認された上で実作業を行っていただくことをおすすめします。

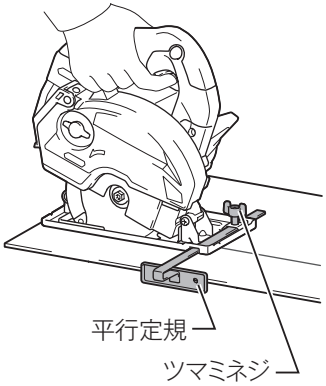


平行定規の使い方

・ 平行定規は一定の幅で切断したいときに使用してください。

平行定規を取り付けるときは、

1. ベースの前部にある定規取り付け口に定規を挿し込みます。
2. 定規の側面を材料の側面に当てながら、定規締め付け用ツマミネジでしっかり締め付けます。



スイッチの操作

⚠ 警告

本製品にバッテリを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

・ スイッチを入れたままバッテリを差し込むと、事故の原因になります。

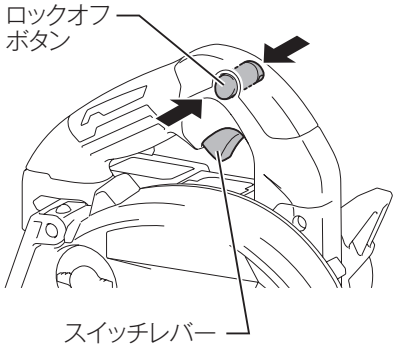
⚠ 注意

本製品はスイッチを切ると同時にブレーキがかかります。ブレーキがかかると反発力が発生しますので、本製品をしっかり保持してください。

・ 本製品を落としたりして、けがの原因になります。

・ スイッチはロックオフボタンを押した状態でスイッチレバーを引くと入り、放すと切れます。
ロックオフボタンは左右どちら側からでも操作できます。

・ スイッチレバーを放すと自動的にロックオフボタンが戻り、スイッチが入らない状態になります。



ライトの点灯

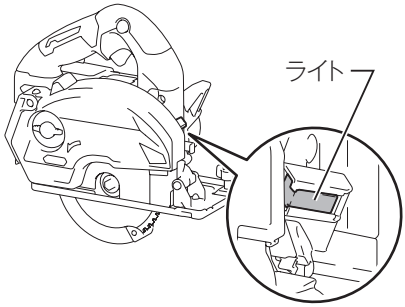
⚠ 注意

ライトの光を直接のぞきこんだり、目に当てないでください。
・ ライトの光が連続して目にあたると、目をいためる原因になります。

・ ロックオフボタンを押さずにスイッチレバーを引くとライトが点灯します（本製品は作動しません）。

・ ロックオフボタンを押しながらスイッチレバーを引くとライトの点灯後、本製品も作動します。

・ ライトはスイッチレバーを放すと、約 10 秒で消灯します。



注

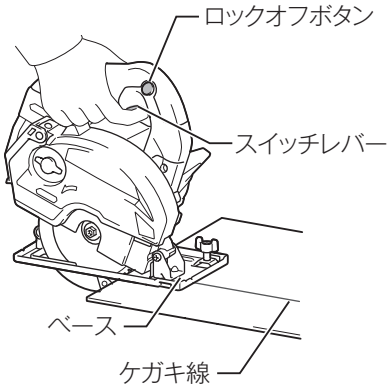
・ ライトレンズ部に付着したゴミは、柔らかい布などで拭き取り、キズが付かないように注意してください。ライトレンズ部にキズが付くと、照度低下の原因になります。
・ ライトレンズ掃除の際はガソリン、シンナーなどで拭かないでください。レンズをいためます。

切断方法

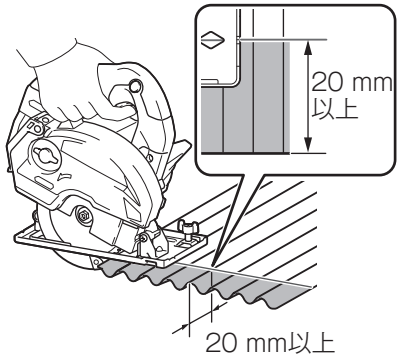
⚠ 警告

切断中に本製品をこじたり強く押し過ぎたりしないでください。
・ モータに無理がかかるばかりでなく強い反発力を生じ、けがの原因になります。
ダストボックスをはずした状態でスイッチを入れないでください。
・ けがの原因になります。

1. 材料の上にベースをのせ、チップソーブレードが材料に触れない状態でスイッチレバーを引きます。
   ライトが点灯します。
2. ベースを材料に密着させ、ケガキ線を合わせます（41 ページ参照）。
3. 本製品をしっかり保持し、ロックオフボタンを押しながらスイッチレバーを引いてチップソーブレードを回転させます。
4. チップソーブレードの回転が完全に上昇し、安定したら、そのまま静かに前方へ進め、切り終わるまでこの状態を保ってください。



・ 薄板金切断を行うときは、切り落とし側の幅を 20 mm 以上とるようにしてください。20 mm 以下の場合、切り落とした材料がダストボックスに巻き込まれて、つまることがあります。



注

- チップが大きく欠けたり、台金が損傷している場合は、新品のチップソーブレードに交換してください。
- バッテリの残容量が少なくなると、ロックしやすくなりチップが破損する恐れがありますので、チップソーブレードの回転が遅くなってきたら、バッテリを充電してください。
- 鋼材の重ね切りや、焼入れ鋼材の切断はしないでください。
- 切断直後の材料や切断片、チップソーブレードは高温になっていますので素手で触らないでください。
- ステンレス鋼は、ステンレス鋼切断用のチップソーブレードを使用して切断してください。

使用後の取り扱い

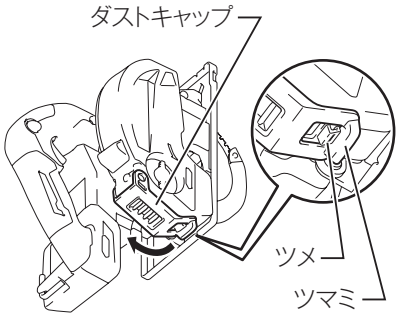
切粉の捨て方

⚠ 注意

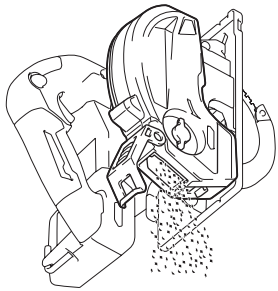
作業時は、常に保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。
切粉によって、ダストボックスが熱くなる場合があります。切断直後の切粉やダストボックスには、直接手などを触れないでください。
・ やけどの原因になります。
シンナー、ガソリン、油などの薬品類が付着した材料は、切断しないでください。
・ シンナー、ガソリン、油などの薬品類が、ダストボックスに付着すると、ひび割れなどをすることがあり、けがの原因になります。

・ 本製品は、切粉を集じんするダストボックスを装備しています。
ダストボックス内に切粉がたまりましたら、こまめに切粉を捨ててください。

1. ツマミを引いてツメをはずし、ダストキャップを開きます。

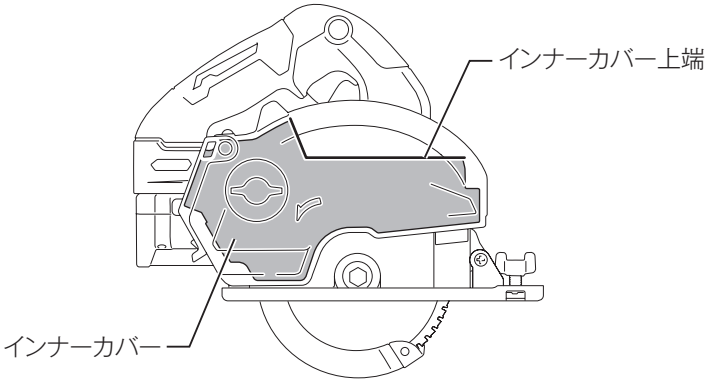


2. 本製品の後部を下にして切粉を捨てます。



注

- ダストボックス内が切粉でいっぱいにならないように、早めに捨ててください。
- 切粉はインナーカバー上端にたまる前に捨ててください。
  - 熱で変形する原因になります。



本製品のお手入れ

⚠ 警告

保守、点検の際は、必ずスイッチを切り本製品よりバッテリを抜いてください。
- バッテリを差したまま行うと事故の原因になります。

- 乾いた布か薄めた中性洗剤を付けた布できれいに拭いてください。

注

- 水洗いは絶対にしないでください。
  - 本製品内部に水が入り、故障の原因になります。
- ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

応用操作

ダストボックス・ダストカバーの取りはずし・取り付け方

⚠ 警告

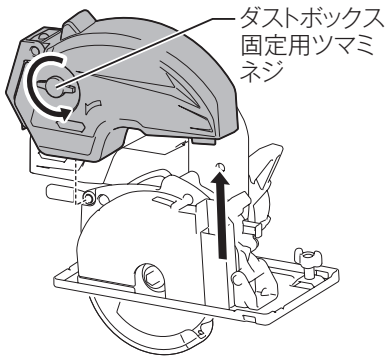
標準付属品のダストボックスは金工専用で、「別販売品のご紹介」に記載のダストボックスとダストカバーは木工・石こう・樹脂専用です。
ダストボックスおよびダストカバーは専用用途以外の使い方をしないでください。

・ 専用用途以外の使い方をすると、ダストボックスやダストカバーが変形したり、溶けたりする原因となり、事故やけがの恐れがあります。
また、ダストボックス内に残った木くずに金工切断の火花や高温の切粉が加わると発火・発煙の恐れがあります。

・ 標準で付属している金工専用ダストボックスから、別販売品の木工・石こう･樹脂専用ダストボックスや木工･石こう･樹脂専用ダストカバー（いずれも集じん機接続可）に付け替えができます。
・ 別販売品の木工・石こう・樹脂専用ダストボックスおよびダストカバーも以下と同様の手順で取りはずし、取り付けができます。

■ 取りはずし方

・ ダストボックス固定用ツマミネジを矢印の方向にゆるめ、持ち上げて取りはずします。



■ 取り付け方

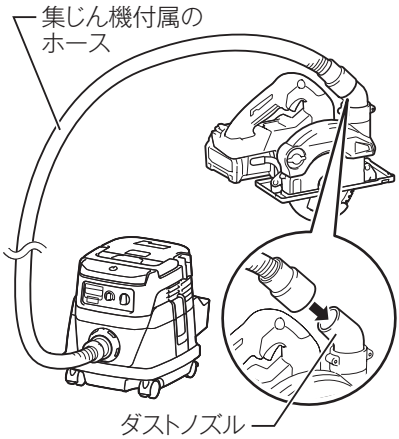
・ 取り付ける際は、取りはずし方と逆の要領で取り付けます。

木工･石こう･樹脂専用ダストカバー（別販売品）の使い方

・ 別販売品の木工・石こう・樹脂専用ダストカバーと当社の集じん機を接続することで、衛生的に作業をすることができます。

■ 集じん機との接続

1. 集じん機付属のホースをダストノズルに挿し込んで使用します。



ホースの内径がφ 19 の場合
・ 集じん機のホースを直接ダストノズルに取り付けてご使用ください。

ホースの内径がφ 28 の場合
・ 集じん機のホースにフロントカフス 38 を取り付け、ダストノズルに接続してご使用ください。

ホースの内径がφ 38 の場合
・ 集じん機のホースを直接ダストノズルに取り付けてご使用ください。

注

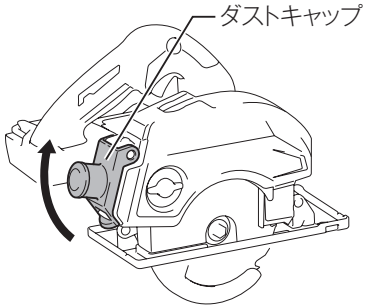
・ ホース 28（別販売品）には工具接続用にフロントカフス 22 と 38 を同梱しています。ダストノズルの口サイズに合ったカフスを取り付けてご使用ください。

木工･石こう･樹脂専用ダストボックス(別販売品)の使い方

・ 別販売品の木工・石こう・樹脂専用ダストボックスと当社の集じん機を接続することで、衛生的に作業をすることができます。

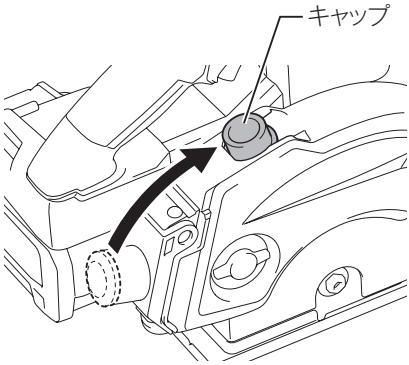
■ 切粉の捨て方

・ ダストキャップを開けて中にたまった切粉を捨ててください。



■ 集じん機との接続

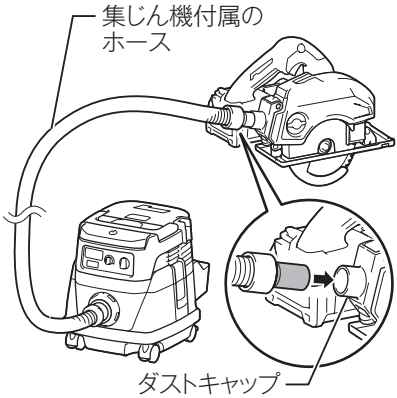
1. キャップを取りはずします。



注

・ 取りはずしたキャップはダストボックス上部に収納できます。

2. 集じん機付属のホースをダストキャップに挿し込んで使用します。



ホースの内径がφ 19 の場合

・ 集じん機のホースにジョイント 22-38（別販売品）を取り付け、ダストキャップに接続してご使用ください。

ホースの内径がφ 28 の場合

・ 集じん機のホースにフロントカフス 22 を取り付け、ダストキャップに接続してご使用ください。

ホースの内径がφ 38 の場合

・ 集じん機のホースにジョイント 22-38（別販売品）を取り付け、ダストキャップに接続してご使用ください。

注

・ ホース 28（別販売品）には工具接続用にフロントカフス 22 と 38 を同梱しています。ダストキャップの口サイズに合ったカフスを取り付けてご使用ください。

吊り下げ用フック（別販売品）の使い方

⚠ 警告

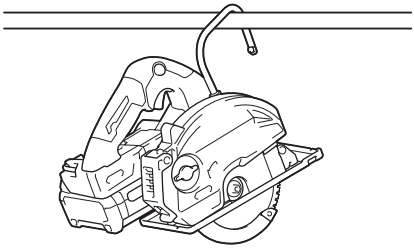
吊り下げ用フックを高所で使用したり、不安定な場所への吊り下げを行わないでください。
・ フックがはずれて本製品が落下した場合、重大な事故の原因になります。

吊り下げ用フックの取り付けの際は、必ずスイッチを切りバッテリを抜いてください。
・ バッテリを差したまま行うと事故の原因になります。

吊り下げ用フックを取り付ける際は、ネジを十分に締め付けてください。
・ ネジの締め付けが不十分ですと、フックがはずれ、事故の原因になります。

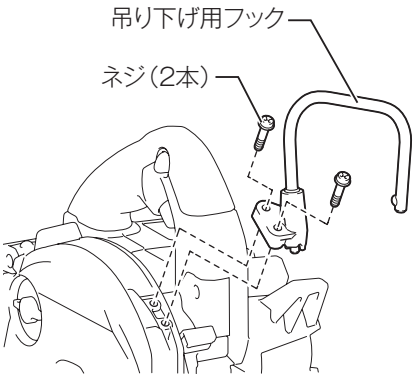
吊り下げ用フックを腰のベルトなどにかけないでください。
・ フックがはずれて本製品が落下した場合など、事故や誤動作の原因になります。

・ 吊り下げ用フックを取り付けることで、本製品をパイプなどにかけることができます。

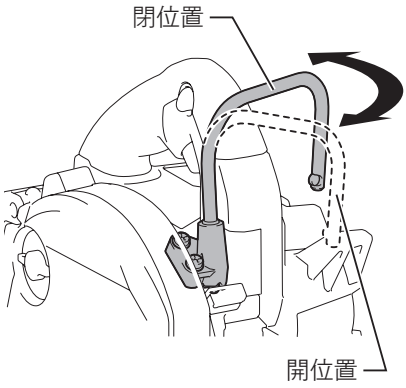


■ 取り付け方

1. 吊り下げ用フックをネジ（2 本）で取り付けます。



2. 使用するときは、吊り下げ用フックを開位置にカチッと収まるまで回します。
使用しないときは、吊り下げ用フックを閉位置にカチッと収まるまで回します。



故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、下記項目を点検してください。

症状

- 本製品が停止する
- 始動しない

原因

保護機能※が働き、本製品またはバッテリが機能停止している可能性があります。

解消方法

スイッチを切って、再度入れてください。

↓ 解消しない

バッテリを充電するか、充電済みのバッテリと交換してください。

↓ 解消しない

本製品を十分に冷ましてください。

↓ 解消しない

お買い上げの販売店、または当社営業所まで修理をお申し付けください。

※保護機能については 34 ページ参照。

ご修理の際は

- 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- 修理をお申し付けの際は、製品、バッテリ、充電器を一緒にお持ちください。

メモ

株式会社マキタ
愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711（代表）

881H67G3
IWT